

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期綾瀬市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

神奈川県綾瀬市

3 地域再生計画の区域

神奈川県綾瀬市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和40年代を通じて急速に増加したが、本市が2020年に作成した綾瀬市総合計画2030の推計によると、2020年の84,462人をピークに減少に転じ、2040年までの20年間で7,000人近くが減少し、76,695人になると見込まれる。

年齢3区分別人口比について、年少人口（0～14歳）は、1960年以降増加が続き、1980年に20,184人でピークを迎えた。1975年には総人口に占める割合が31.3%と、約3人に1人が年少人口であったが、2015年には14.1%（約7人に1人）まで低下している。生産年齢人口（15～64歳）は1960年以降増加を続け、1995年に61,817人でピークを迎えた後、減少傾向にある。総人口に占める割合は、1985年以降年少人口比率の低下に伴い上昇し、1995年に76.6%と最大となった。その後は老年人口の増加と相まって、生産年齢人口の割合が低下する傾向にあり、2015年には60.2%となっている。老年人口（65歳以上）は緩やかな増加が続いていたが、1995年以降増加傾向が強まり、2015年には21,694人となっている。総人口に占める構成比（高齢化率）は、1970年から1985年にかけては5%未満であったが、1990年以降上昇が続き、2015年には25.7%となった。2030年には生産年齢人口比率は59.8%、年少人口比率は11.1%に低下する一方、老年人口比率は29.1%にまで上昇するものと推計されており、少子高齢化が続くことが見込まれている。特に75歳以上の人口比率は、19.3%となり、65歳以上の高

齢者の3人に2人、総人口の5人に1人が75歳以上となる。

自然動態について、自然増減は出生数が最も多かった1974年の963人をピークに、それ以来右下がりとなっている。近年では出生数が横ばいもしくは微減であるのに対し、死亡数が増加しているため、自然減が続いており、2015年以降減少局面に転じ、2023年は自然減495人と、1965年以降では最少となった。なお、本市の合計特殊出生率は、1999～2001年の間は県全体と同等もしくは、やや低い水準にあったが、2002年以降は県全体よりも高い水準となっている。2008年以降は1.3～1.4台で推移しており、特に2010年には1.48と高い値となった。直近3年間（2019～2021年）は1.25、1.17、1.36と推移している。

社会動態について、1970～1975年には3,500～5,000人程度の規模で社会増となっていたが、1976年には社会増が1,979人となり、その後1984年まで右下がり推移している。1985年から1987年にかけては社会増が大きくなったが、その後は減少傾向がみられ、1994～2000年の間は社会減となった。2000年以降は転入数と転出数が同程度である状態が続いていたが、2018年以降、外国人市民の急激な増加により、2019年は社会増432人となった。2020年については、新型コロナウイルスの影響により外国人市民の流入が止まり、社会減133人となったが、2021年に再び社会増に転じ、2023年は社会増219人となっている。

こうした人口減少、少子高齢化の進行を要因として、地域経済の停滞や地域コミュニティの縮小・希薄化、また、本市の基幹産業である農・商・工業の深刻な担い手、後継者不足といった様々な課題が生じており、このままでは、地域衰退の悪循環に陥ることが想定される。

さらに本市では、外国人市民の人口もベトナム人等を中心に増加する傾向にあり、2023年では市民の5%超が外国籍となっている。そのため、多様なルーツを持った市民が互いの文化的な違いを認め、尊重し合う多文化共生のまちづくりも進めていくことが必要となっている。

こうした課題の解消を図るため、市の魅力を育むとともに、支え合いによる地域福祉の実現や地域の活性化を促進し、次世代に引き継げるまちづくりを進めることが重要であることから、本計画において「育てる」「稼ぐ」「支える」の3つの観点による基本目標を設定し、自立性等を有した持続性の高いまちづくりにつなげていく。

・基本目標 1 育てる

(戦略プロジェクト)

ア 笑顔あふれる親子が育つまちプロジェクト

イ 外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト

ウ 未来を支える地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト

エ 特色ある公園活用プロジェクト

オ 目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト

・基本目標 2 稼ぐ

(戦略プロジェクト)

カ あやせ産業連携プロジェクト

キ あやせ工場プロジェクト

ク あやせ農場プロジェクト

ケ 中心市街地の魅力と地域活力UPプロジェクト

・基本目標 3 支える

(戦略プロジェクト)

コ アクティブ・シニア応援プロジェクト

サ あやせ流健康習慣定着プロジェクト

シ 大規模自然災害対策プロジェクト

ス 誰もが便利な移動手段強化プロジェクト

セ 次世代につなげる公共施設改革プロジェクト

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	非認知能力向上に関する講座の実施数 (年間)	5 回	8 回	基本目標 1
	非認知能力向上の方	65世帯	335世帯	

	法と効果を知り、自発的に取り組みを実践する家庭（累計）			
イ	ボランティアによる日本語教室との協働件数(年間)	7 教室	7 教室	
	ボランティアによる日本語教室の実施回数（年間）	448回	450回	
ウ	市民活動センターあやせ利用者数（年間）	6, 129人	7, 100人	
	市民活動センターあやせ利用登録団体数（累計）	169団体	176団体	
エ	特長を生かした公園づくり（公園整備・活用数）（累計）	0 カ所	6 カ所	
	魅力ある公園づくり（公園整備・活用数）（累計）	0 カ所	3 カ所	
オ	目久尻川流域の寺社等団体の歴史文化ゾーン構想構成数（累計）	0 カ所	10カ所	
	目久尻川流域の寺社等団体による歴史文化ゾーン関連自主事業実施数（累計）	0 件	3 件	

カ	農商工の事業者等の マッチング事業実施 回数（累計）	0 回	5 回	基本目標 2
	農商工の事業者等の マッチングによる新 商品開発件数（累計 ）	0 件	5 件	
キ	支援制度の活用によ り A I ・ I o T 化や 産業用ロボット等を 導入し、自動化に取 り組む企業数（累計 ）	1 社	21社	
	支援制度の活用によ り市内企業（製造業 ）が一般消費者向け に開発する新商品数 （累計）	9 商品	35商品	
ク	地場農産物の魅力の 発信（出荷情報の発 信・映像放映誘致）（ 年間）	14回	20回	
	新規就農者数（累計 ）	4 人	5 人	
ケ	商業施設と公共施設 の連携の仕組みづく り（累計）	0 件	1 件	基本目標 3
コ	アクティブ・シニア 応援窓口でのマッチ	78件	410件	

	ング件数（年間）			
	後期高齢者の介護認定率	27.10%	32.70%	
サ	「健康的な食事・食環境」認証制度活用（新規認証及び継続）店舗数（累計）	3店舗	常時3店舗	
	成人期の1日30分以上、週2～3回、3か月以上運動している人の割合	30.9%	48%	
シ	災害対策本部訓練実施回数（年間）	0回	1回	
	避難所開設訓練参加者数（累計）	1,272名	6,000名	
ス	コミュニティバスのルート見直し回数（累計）	0回	1回	
	コミュニティバスの乗車率（年間）	55.1%	60.0%	
セ	地域施設の複合化事業の実施（累計）	0地区	4地区	
	地域施設の複合化事業の実施による施設総量の削減面積（累計）	0 m ²	715m ²	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期綾瀬市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 笑顔あふれる親子が育つまちプロジェクト
- イ 外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト
- ウ 未来を支える地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト
- エ 特色ある公園活用プロジェクト
- オ 目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト
- カ あやせ産業連携プロジェクト
- キ あやせ工場プロジェクト
- ク あやせ農場プロジェクト
- ケ 中心市街地の魅力と地域活力UPプロジェクト
- コ アクティブ・シニア応援プロジェクト
- サ あやせ流健康習慣定着プロジェクト
- シ 大規模自然災害対策プロジェクト
- ス 誰もが便利な移動手段強化プロジェクト
- セ 次世代につなげる公共施設改革プロジェクト

② 事業の内容

ア 笑顔あふれる親子が育つまちプロジェクト

子育て環境の向上や、地域の子育てネットワーク形成に向けた事業。
また、非認知能力の向上支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・親子や地域の交流の場づくり
- ・地域の子育て支援団体の育成支援
- ・コミュニケーション力養成講座

- ・非認知能力を育むための保育士研修
- ・家庭で実践できる非認知能力向上の仕組みづくり 等

イ 外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト

外国人市民への行政サービスの充実に向けた事業、多文化共生の促進に向けた事業。また、外国人市民等の活躍の支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・多言語 I C T ツールの活用推進
- ・防災、医療情報の多言語化
- ・日本語等の学習支援の充実
- ・外国人市民等を対象とした創業・経営支援及び、さまざまな国の料理店の創出促進
- ・国際色豊かなイベントの開催支援 等

ウ 未来を支える地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト

自治（会）機能の強化・充実に向けた事業、市民活動団体等の一層の活性化に向けた事業。また、多様な市民活動の仕組みづくりに向けた事業。

【具体的な施策】

- ・自治会、市民活動等の担い手の育成・発掘支援
- ・共創の場による活動の立ち上げ、継続への支援
- ・市民活動センターを拠点とした新たなネットワーク・交流促進の仕組みづくり
- ・民間空きスペース等とのマッチングによる活動の場づくりへの支援
- ・アクティブ・シニア応援窓口、コミュニティ活動のコーディネーター等との連携体制づくり 等

エ 特色ある公園活用プロジェクト

人を引き寄せる魅力ある公園づくりに向けた事業。また、それぞれの特長を生かした公園づくりに向けた事業。

【具体的な施策】

- ・光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園の特色を生かした魅力ある公園づくり

- ・公園内カフェ、キッチンカー等の誘致
- ・マルシェ、パフォーマンス等のイベントの開催促進
- ・コミュニティづくりや交流の場づくりの支援
- ・地域・市民等が公園の維持・活用に参加できる仕組みづくり 等

オ 目久尻川流域の歴史文化形成プロジェクト

地域住民が誇ることのできる郷土づくりに向けた事業。また、あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの整備・展開に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・流域の歴史文化資源の掘り起こしと意識創生
- ・歴史文化資源と他の地域資源を結ぶ仕組みづくりと魅力の発信
- ・地域住民等の参加によるあやせ目久尻川歴史文化ゾーンの整備
- ・周辺の特徴ある公園の整備・連携と文化財等とのネットワーク化
- ・サイクリングロードの再整備・活用、回遊性の向上 等

カ あやせ産業連携プロジェクト

産業各分野の連携の推進に向けた事業、「あやせ産業全体のブランド化」の促進に向けた事業。また、販路の開拓・販売促進に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・産業連携に係るプラットフォームの構築
- ・新商品開発支援事業（グルメ商品や特産品、名産品の開発）
- ・産業連携による6次化の支援
- ・産業全体のブランド化に向けたコンサルタントの活用
- ・販売促進に繋がる取り組みに対する支援 等

キ あやせ工場プロジェクト

技術力の向上に向けた支援に係る事業、「ものづくりのまち綾瀬」のブランド化促進に向けた事業。また、担い手づくりへの支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・IoT化やロボットの導入等の技術革新、成長産業への参入に対する支援
- ・工業データベース活用等によるビジネスマッチングの促進

- ・オープンファクトリー等を通じたものづくりへの理解の促進
- ・事業承継、技能継承への支援
- ・海外人材との交流支援 等

ク あやせ農場プロジェクト

稼ぐ農業の推進に向けた事業。また、農業への新規参入の支援に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・市内外への販路の確立と拡大
- ・道の駅や直販所等を拠点とした「農」の魅力向上、情報発信
- ・「あやせ農場」による、高品質な農畜産物の生産地としての積極的なPR
- ・ブランド化・6次産業化への支援
- ・就農への支援強化 等

ケ 中心市街地の魅力と地域活力UPプロジェクト

中心市街地の魅力と利便性向上に向けた事業。また、綾瀬スマートICを活用した地域活力の向上に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・市民文化センターエリアにおける、魅力向上につながる民間活用
- ・商業施設と公共施設の連携の仕組みづくり
- ・中心市街地の魅力向上のための地域振興策
- ・綾瀬スマートICを活用した新たな拠点の形成
- ・中心市街地における地域振興策との連携 等

コ アクティブ・シニア応援プロジェクト

元気高齢者の就労希望の実現に向けた事業。また、元気高齢者の地域等での活躍の場の創出に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・応援窓口による就労支援
- ・アウトリーチ等による現役世代や無関心層へのアプローチの拡充
- ・元気高齢者に係る研究、要因分析に向けた大学連携
- ・アクティブ・シニア応援窓口による多様で自発的な社会参加の促進

- ・アクティブ・シニア応援窓口の多様な世代の交流の場としての活用等

サ あやせ流健康習慣定着プロジェクト

健康的な食習慣の定着化に向けた事業。また、健康的な行動習慣及び運動の定着化に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・「健康的な食事・食環境」定着の機会創出（ベジファーストの推進、イベント開催、メニュー開発、発信拠点づくり等）
- ・内臓脂肪型肥満や糖尿病予防への取り組み
- ・ナッジ効果を応用した健康的な行動習慣の普及
- ・健康状態や習慣の見える化による、健康意識促進
- ・働き盛り世代、無関心層への運動習慣の普及・定着 等

シ 大規模自然災害対策プロジェクト

地域の防災・減災力の向上に向けた事業。また、復旧・復興対策の充実にに向けた事業。

【具体的な施策】

- ・さまざまな機会を捉えた市民等の防災意識啓発、地域防災の担い手育成
- ・防災訓練・講演会等の開催や小・中学生を対象とした防災教育の推進
- ・避難行動要支援者・外国人市民等への対応強化
- ・避難所、防災倉庫、備蓄等の充実
- ・支援者と支援先のマッチングの仕組みづくり 等

ス 誰もが便利な移動手段強化プロジェクト

公共交通の利便性向上に向けた事業、複合的な交通手段の展開に向けた事業。また、地域における移動手段の充実にに向けた事業。

【具体的な施策】

- ・コミュニティバス全ルートの再検証、利便性向上に向けた検討
- ・道路ネットワークの構築、道路交通環境の向上
- ・公共交通乗換拠点を結節点とした交通ネットワークの構築

- ・パーク＆バスライドの利用促進
- ・住民参加型移動支援や福祉有償運送等を行う人材の育成や組織への側面的支援 等

セ 次世代につなげる公共施設大改革プロジェクト

公共施設の再編と質の向上に向けた事業。また、公共施設マネジメントの促進に向けた事業。

【具体的な施策】

- ・アクションプラン対象施設の整備及び利便性等の向上に向けた仕組みづくり
- ・地域施設におけるコミュニティ形成の場としての活用体制づくり
- ・小規模校化に対応した学習環境の質の向上に向けた整備
- ・公共施設マネジメント基本方針に基づいた施設再編の実施・進行管理
- ・公共施設マネジメント推進のための財源確保の取り組み

※ なお、詳細は綾瀬市総合計画 2030 のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,200,000 千円（2025 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に、有識者等による効果検証を行い、翌年度以降の取り組みに対する意見聴取を行う。検証後は速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで